

開講科目名 / Course	教育学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	鈴木 篤	
担当教員名 / Instructor	鈴木 篤	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育に関する本質的理念について、これまで自らが有してきた理解を問い直す。 2. 教育についての基礎理論・思想を理解し、説明することができる。 3. 教育の歴史的発展過程を理解し、今後の変化についての見通しを持つ。 	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育の具体的な場面と関連づけながら、教育に関する理念・思想・歴史について説明できる。 2. 学校教育について俯瞰的に説明できる。 	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探究心と創造力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 「教育」とは何か（教育の理念1） 02. 学校教育の長所と短所（教育の思想1） 03. 「子ども理解」とは何か（教育の理念2） 04. 学校教育の歴史、養護教諭の歴史（教育の歴史） 05. 教育の「評価」とは何か（教育の理念3） 06. 体験の教育的意味（教育の思想2）、「共同体」としての学校（教育の理念4） 07. 「反省的实践家」としての教師（教育の理念5） 08. 現代的教育課題 	
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドアウトを配布し、最新の教育事情に関する話題提供も行う。 ・具体的な教育場面をもとに、受講者が話し合う機会を設ける。 	
時間外学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業計画に基づき、授業開始前に資料などに目を通すこと（8h）。 ・授業終了後、講義中に提示された資料を整理し、復習をおこない、講義において取り扱った基本的な概念について自分なりの理解を構築する（10h）。 ・期末レポートの作成（4h）。 	
評価方法と評価割合	本授業では、講義内容について理解が十分であるかどうかを基準に評価を行う（定期試験100%、定期試験では自らの作成した手書きのノートのみ参照可）。なお、教員の免許状取得のための必修科目であることから、教師としての資質能力育成のため、教職志望者として不適切な受講態度を減点の対象とする。	
テキスト	毎回ハンドアウト、資料を配布する。	
参考書	教師という仕事・生き方 若手からベテランまで教師としての悩みと喜び、そして成長（日本標準） 5年3組リョウタ組（角川書店）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		